



## 山林火災からの「再生」のシンボル 自然と人間が寄り添う“助川山市民の森”

助川山市民の森は、1991（平成3）年3月7日に起きた山林火災の跡地を公園として整備したものです。

この火災は、助川町の国有林から出火し、住宅26棟、山林216haを焼失する大規模なものでした。今でも所々焼けた木の残骸を見ることができます。

火災後の森は自然の力でどんどん回復し、今では四季を通じて楽しむことができます。

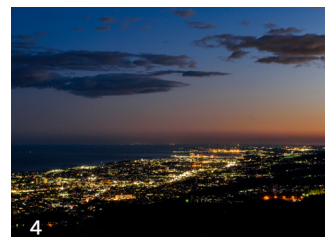
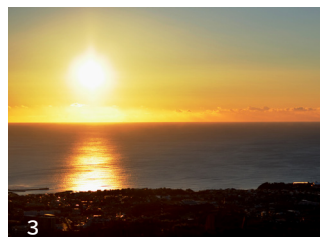
「体験を通して楽しく学ぶ自然教育の場」として親しまれることをねらいに、ネイチャートレール（自然遊歩道）が12コース整備されています。また、高鈴ハイキングコース、助川城跡公園にも通じています。

助川山山頂は標高328mで、眼下には日立の街並みが広がり、山頂にある展望台からは、太平洋から悠然と昇る朝日と、市街地の明かりが彩る鮮やかな夜景を楽しむことができます。

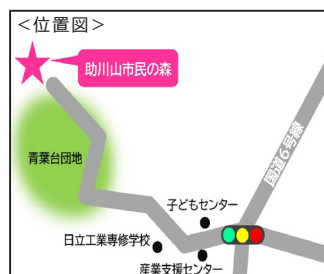
360度の展望は、西側には高鈴山、北側は福島県いわき市、南側は鹿島灘、そして天気良ければ千葉県銚子市までの眺望が広がります。



1・2. 山林火災の様子と焼け跡。火災翌年の1992（平成4）年から毎年、山林火災が発生した時期と同時期に、林野火災消防演習を実施し、不意の山火事に備えています。



3・4. 助川山山頂から見た朝日と夜景。海と山が近い日立市だからこそ、見ることができる景色が山頂にはあります。初日の出の名所として知られています。



### <基本情報>

【所在地】  
日立市成沢町地内  
【問合せ先】  
日立市都市整備課 0294-22-3111  
【URL】  
<https://www.city.hitachi.lg.jp/park/page/p002525.html>